

平成27年11月18日
国土交通省九州地方整備局
佐賀国道事務所

記者発表資料

地方自治体職員を対象とした人材育成。
1県3市3町の職員の技術力向上のため、現場研修会を開催します。

国土交通省佐賀国道事務所にて整備を進めている西九州自動車道「唐津伊万里道路」の工事現場において、佐賀県（杵藤土木事務所）からの依頼を受け1県3市3町の自治体職員を対象に、現場研修会（出前講座）を行いますのでお知らせします。

この現場研修会は、情報化施工や橋梁架設方法などを学ぶことで、地方自治体への技術支援、及び職員の技術力向上を目的に開催するものです。

記

日 時 : 平成27年11月20日（金） 13:00～15:30 ※小雨決行
参加者 : 1県3市3町の自治体職員ほか 約50名
（佐賀県（杵藤土木事務所）・武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・江北町・太良町）
場所 : 伊万里市南波多町原屋敷字平松1709（現場詰所）
（詳細は別紙1「研修会 開催場所 案内図」参照）
研修内容 : ①情報化施工について
②原屋敷橋（仮称）の橋梁架設方法について
その他 : 研修内容①と②は研修会場が異なるため、当日は研修会駐車場に集合し研修会場を移動し実施します。（別紙2：現地研修会行程表参照）

《マスコミ関係者へのお願い》

取材に来られる際は、駐車場確保・ヘルメットの準備を行いますので、11月19日（木）17時までに下記の問い合わせ先まで連絡をお願いします。

また、当日は13時00分までに「研修会駐車場」までお越し下さい。

（別紙1：研修会開催場所案内図参照）

問い合わせ先

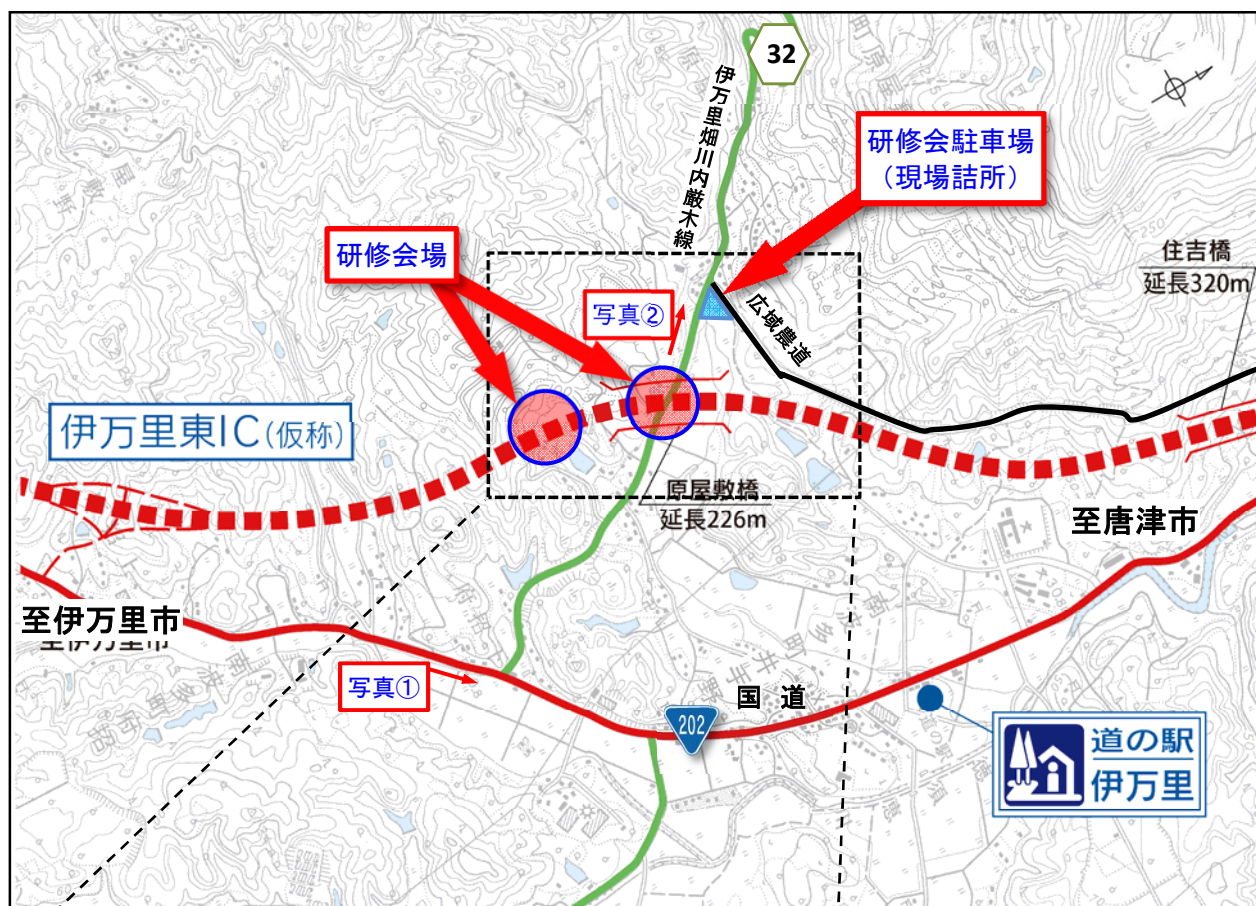
国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所



あさい ひろみ
技術副所長 浅井 博海
うちだ ひとし
工務課長 内田 均
TEL 0952-32-1151

研修会 開催場所 案内図

別紙 1

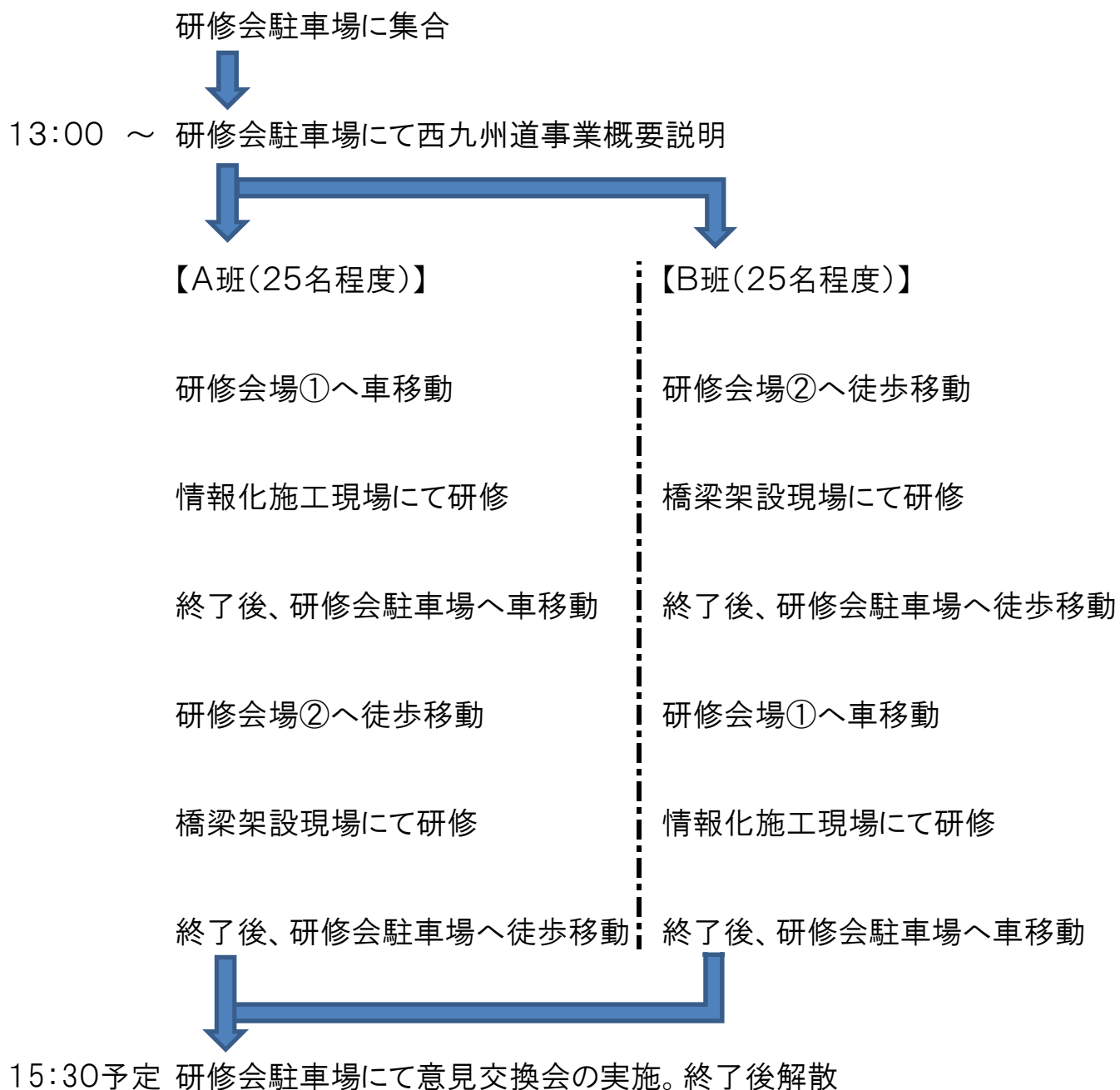


【マスコミ関係者のみなさまへ】

駐車場の出入口に「現場研修会 駐車場」の看板を設置しておりますので、取材に来られる際の目印として下さい。

現地研修 行程表

別紙 2



※研修会駐車場から各研修会場(現場)までの移動の際は、現地職員が誘導いたします。

情報化施工 概要資料

参考資料 1

(1) 情報化施工とは

情報化施工とは、建設事業における「施工」において、情報通信技術（ICT）の活用により、各プロセスから得られる電子情報をやりとりして高効率・高精度な施工を実現するものです。



図 情報化施工の実現イメージ（情報化施工推進戦略より）

※情報通信技術（ICT：Information and Communication Technology）とは、主に汎地球測位航法衛星システム（GNSS：Global Navigation Satellite System）、トータルステーション（TS：Total Station）といった高度な測位システムや、通信機器、コンピュータのことのことを指します。

(2) 情報化施工のイメージ

現在、建設現場では汎地球測位航法衛星システム（GNSS）やトータルステーション（TS）などの高度な測位システムの導入が進み、測量や検査に使用されています。このような情報通信技術（ICT）と電子化された施工図などのデータを活用することによって、施工現場では測量などの計測作業の合理化、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上、丁張なしでの施工による施工効率の向上が期待できます。

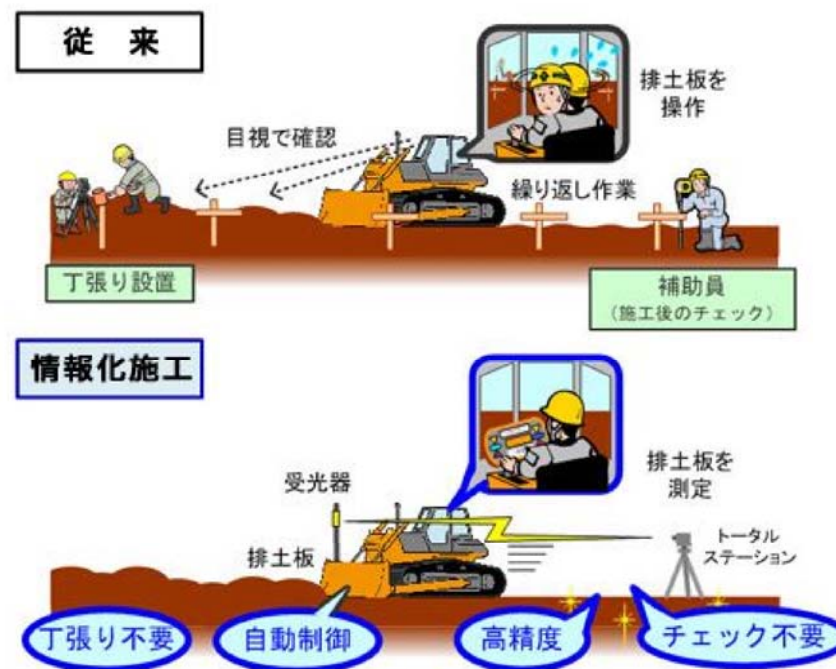


図 従来施工と情報化施工（建設機械の自動制御）の比較

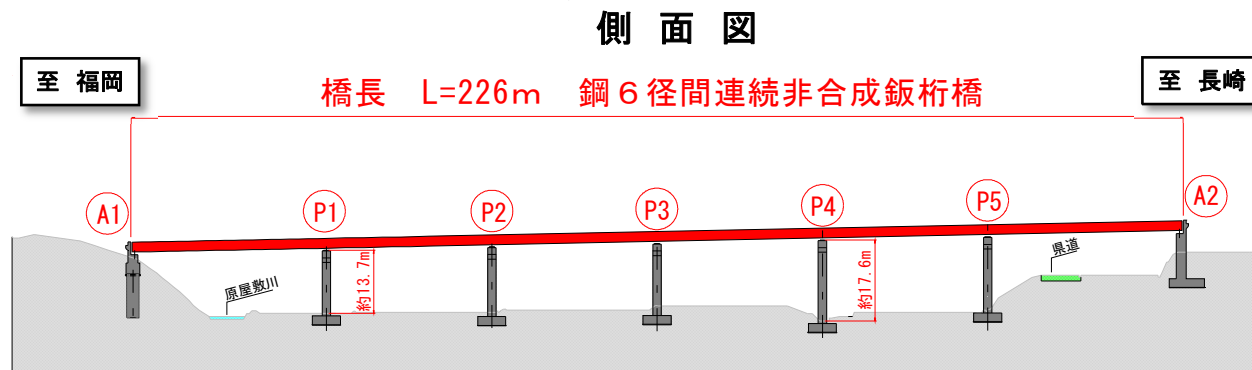
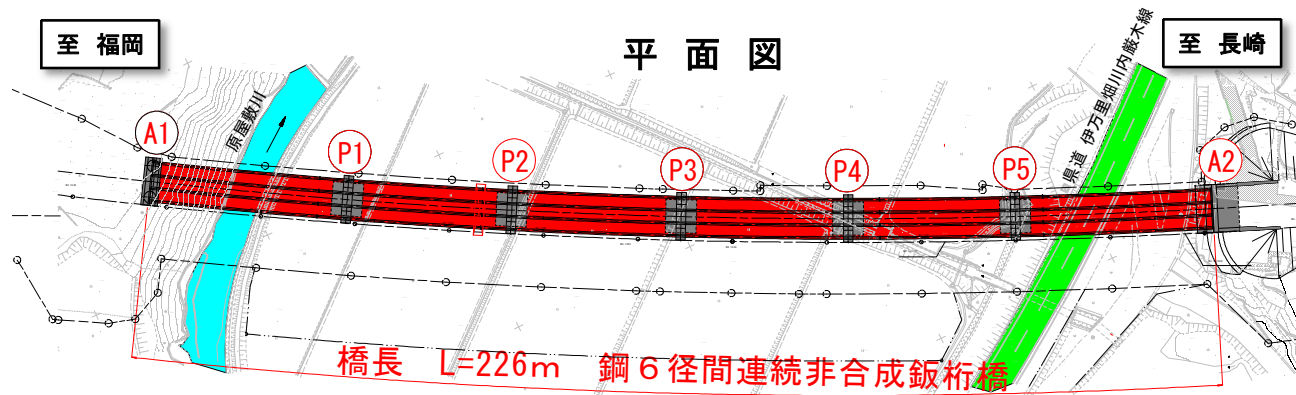
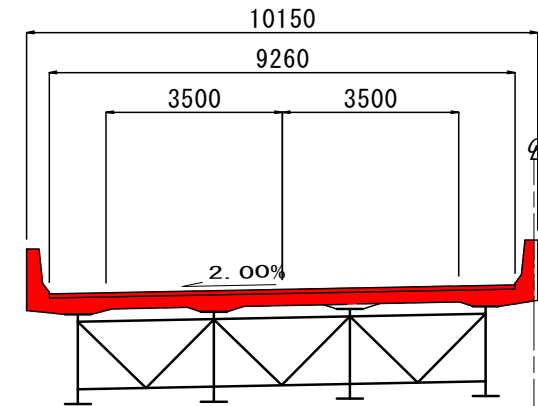
九州地方整備局 情報化施工サイト HPより
URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/ict/>

原屋敷橋(仮称)概要資料

諸 元

◇ 橋 梁 名	原 屋 敷 橋 (仮称)
◇ 橋 長	226. 0m
◇ 橋 種	鋼6径間連続非合成鈹桁橋
◇ 架 設 工 法	ベント併用クレーン架設

上部工標準断面図



整備が進む原屋敷橋(仮称)

